ウクライナしんこう 【ウクライナ侵攻】

ロシア連邦が2022年2月に開始したウクライナへの軍事侵攻。ロシアは2022年2月21日にウクライナのドネツク州、ルハンスク州の一部を独立国として承認し、2014年に併合したクリム半島（クリミア半島）と同様に実効支配した。2月24日にはウクライナ国内へ攻撃を開始し、ハルキウ、マリウポリ、ザポリッジャなどの周辺に支配を広げた。一方、反撃するウクライナ軍は首都キーウ周辺のロシア軍を撤退に追いこんだほか、支配された地域の一部もうばいかえした。1年以上にわたり戦闘がつづいて両軍の兵士やウクライナの民間人には多くの犠牲が出ており、死傷者の数は10万人とも20万人ともいわれる。国連人権高等弁務官事務所は、民間人の死傷者数は約2万3000人（2023年4月現在）としている。また、国連難民高等弁務官事務所は、ウクライナからの難民の数はヨーロッパ全土で約830万人（2023年5月現在）にのぼるとしている。

ロシアとウクライナはともに、9世紀から12世紀にキエフ（現在のキーウ）を首都として栄えたキエフ公国を起源にもつとされ、ロシアのプーチン大統領は、両国は一体だと主張している。さらに軍事侵攻の背景には、東ヨーロッパで北大西洋条約機構（NATO）が勢力を広げたことや、ウクライナのゼレンスキー大統領がアメリカ合衆国やヨーロッパ連合（EU）に近い立場をとっていることへの、ロシア側の危機感もあるとみられている。

この軍事侵攻に対して国際社会からは非難が集まり、多くの国がロシアへの経済制裁とウクライナへの援助を実施した。日本も、物資や資金の援助、避難民の受け入れなどをおこなった。ただ、エネルギー資源の輸出国であるロシアへの経済制裁や、コムギの輸出国であるウクライナの混乱は、世界経済に大きな影響をあたえ、日本でも物価の上昇や電気、ガス料金の値上がりなどにつながった。

更新日:2023/07/14

NDC 238 319 329

ウクライナ侵攻

提供：PPS 通信社

ロシア軍の攻撃を受けた西部の都市、ビンニツァ（2022年7月撮影）

ボロディミル・ゼレンスキー

提供：PPS 通信社
ウクライナ第６代大統領

ウクライナのおもな都市

© ポプラ社

資料：Institute for the Study of War

くにえだしんご 【国枝慎吾】

1984年～。元プロ車いすテニス選手。千葉県生まれ。9歳のとき、病気のために車いす生活を送るようになり、11歳で車いすテニスをはじめた。2004（平成16）年の第12回アテネ大会でパラリンピックに初出場し、ダブルスで金メダルを獲得。2007年には、車いすテニス男子シングルス史上初の年間グランドスラムを達成した。2009年に日本初のプロ車いすテニス選手となってからも数々の大会で好成績をおさめ、2023（令和5）年に現役を引退するまでに、世界四大大会（全豪オープンテニス大会、全仏オープンテニス大会、ウィンブルドンテニス大会、全米オープンテニス大会）だけで50回の優勝をはたした。パラリンピックには、2021年におこなわれた第16回東京大会まで5大会連続で出場し、4つの金メダルを獲得している（いずれもシングルスとダブルスの合計）。こうした功績から、2023年3月には障害者スポーツの選手としてはじめて国民栄誉賞を受賞した。

更新日:2023/07/14

学 国民栄誉賞受賞者 176
学 オリンピック・パラリンピック日本代表選手メダリスト 308

NDC 210 369 783

国枝慎吾

ⓒ IMG

こどもかていちょう　【こども家庭庁】

内閣府の外局のひとつで、こどもにかかわる政策の中心となる行政機関。2023（令和5）年4月に、それまで内閣府、厚生労働省、文部科学省といった複数の省庁がばらばらにおこなっていたこどもにかかわる行政の仕事をひとつにまとめ、こどもと家庭への支援を推進することを目的に設置された。具体的には、少子化対策、子育て支援、ひとり親家庭支援、いじめやこどもの貧困への対策、児童虐待やこどもの性被害の防止、ヤングケアラーへの支援などを受けもつ。保育所は厚生労働省、認定こども園は内閣府から、いずれもこども家庭庁の担当にかわったが、幼稚園や義務教育はひきつづき文部科学省が担当している。

更新日:2023/07/14

➡ 関連 内局・外局、こども基本法

学 行政機関　134

NDC 317 367 369

ひろしまサミット　【広島サミット】

2023（令和5）年5月に広島県広島市で開催されたG7サミット。日本が議長国をつとめるサミットは、2016（平成28）年の伊勢志摩サミット以来7回目で、日本、アメリカ合衆国、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダの首脳と、ヨーロッパ連合（EU）のヨーロッパ理事会常任議長とヨーロッパ委員会委員長が参加した。

核軍縮・不拡散、気候・エネルギー、食料問題などに加えて、ウクライナ侵攻をめぐる状況も議題とされ、一部の会議にはウクライナのゼレンスキー大統領も参加した。また「グローバル・サウス」と総称される、アジア、アフリカ、南アメリカなどの新興国や発展途上国との連携強化もテーマとされた。インド、インドネシア、ベトナム、ブラジルなど、「グローバル・サウス」とされる複数の国の首脳が招待され、同じく招待された大韓民国（韓国）やオーストラリアの首脳らとともに、一部の会議に参加した。期間中には、G7の首脳がそろって広島平和記念資料館をおとずれたほか、G7首脳による共同文書としてはじめて核軍縮に焦点をしぼった「広島ビジョン」が発表された。

更新日:2023/07/14

NDC 210 319 329

広島サミット

提供：外務省

原爆死没者慰霊碑に献花した９人の首脳たち。左からミシェル議長（ヨーロッパ連合）、メローニ首相（イタリア）、トルドー首相（カナダ）、マクロン大統領（フランス）、岸田首相（日本）、バイデン大統領（アメリカ）、ショルツ首相（ドイツ）、スナク首相（イギリス）、フォンデアライエン委員長（ヨーロッパ連合）

ヤングケアラー

本来はおとながになうはずの家事などを、日常的におこなっているこどもをさすことば。日本では一般的に、家族の介護や看病、身のまわりの世話、その他の家事などをおとなと同じくらい負担している、おおむね18歳未満のこどもについていう。2020（令和2）、2021年度に厚生労働省がおこなった調査では、「世話をしている家族がいる」と回答したこどもの数は小学6年生で6.5%、中学2年生で5.7%、高校2年生で4.1%で、その半数近くが「ほぼ毎日世話をしている」と答えた。世話についやす時間は、平日一日あたりの平均で小学6年生が2.9時間、中学2年生が4時間という結果が出ている。また調査では、自分の時間があまりとれず勉強や友だちづきあいに影響が出ることなどになやんでいても、まわりに相談できていないヤングケアラーが多いことがわかった。そのため、国や地方公共団体、多くの支援団体などが、相談窓口をもうけるなどして支援のとりくみを進めている。

更新日:2023/07/14

NDC 367 369 598